

子どもの瞳かがやく教育に20年、**嶋田たかし** 願いに応える清潔・公正の市政づくりに20年 **日本共産党**



請願採択、議案提案

建設的提案をし 願い実現させる大黒柱

20年前、それまで「子どもの瞳かがやく教育を」と20年間勤めていた教師を退職し、「人間と自然への思いやりある政治に」と、日本共産党の市会議員に。以後20年、市民の願いにこたえた清潔で民主的な市政への改革に奮闘。

今、要求を実現させる請願の採択や、願いにこたえる予算に修正する提案など、議会で建設的提案をする日本共産党の大黒柱として抜群の力を発揮しています。

公約の実現に粘りつよく

右のピラは、嶋田たかしさんが初めて立候補した時の公約の一部です。今、「就学前までの医療費助成制度(通院)」「下水道普及率9.8%→79.4%」「高年生きがいサロン4カ所」と一步一步、市民と力をあわせ実現させています。



小学校卒業までの医療費助成や国保料引き下げ求める請願合計20,873人の署名を受けとる議員団

初選挙時の公約ピラ

- 1 下水道普及のスピードアップ
- 2 お年寄りのための施設を増設
- 3 こどもへの国保料を府並地に引き下げる
- 4 三歳未満の医療費を無料に
- 5 文化会館の建設促進

ハンナン言いなり

追及の先頭に

特定団体言いなりを許さない——嶋田たかしさんが重点にしてきた公約です。

牛肉偽装事件や市の財産を月1万円でハンナンの会長に貸し付ける乱脈問題や、市長の後援会関係企業に市有地を払い下げた時に、市の内部資料が漏れていた疑惑などを追及。ハンナン言いなり市政をただ先頭にたってきました。



住民が主人公

地域要求にも東奔西走

羽曳が丘幼稚園の移転計画が保護者や地域住民に説明もなしに強行されようとしていたとき、地域住民への説明会の開催を要望。説明会を求める請願の採択に奮闘。住民説明会を開かせました。



羽曳が丘幼稚園



近鉄交渉

近鉄交渉は毎年定例化。住民の皆さんからの要望を届けています。連結部の転落防止カバーや駅へのトイレトペーパーの設置など一歩ずつすすんでいます。



はびきの3、4丁目「鉄製ツリーサークル」

歩道に持ち上がって危険!

安全に通行できるように、20箇所ほど撤去しました。撤去後、土を入れ、フラットになるよう整備されました。ふち石についても点検し、安全な通行に向け整備していきます。



転落防止柵を設置

西浦4丁目4番地を流れる水路には、一部フタがされていますが、途中から途切れていたため転落の危険がありました。そこに柵が設置されました。



写真は現在モモプラザにある自動交付機

自動交付機

自動交付機の撤去で住民サービスが低下するのでは? 利用者(率)の多いモモプラザなどは、対策を立てるべきではないかと要望。対策として簡易な端末機を設置してサービス低下を招かないようにするとの回答を得ました。